



平成28年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
コード番号 6668 URL <http://www.adtec-rf.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務・経理部長
四半期報告書提出予定日 平成28年7月14日

(氏名) 藤井 修逸
(氏名) 中山 浩之

TEL 084-945-1359

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第3四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第3四半期	3,884	△16.3	176	△63.1	175	△70.1	108	△72.2
27年8月期第3四半期	4,638	11.7	477	20.6	586	34.4	391	40.3

(注)包括利益 28年8月期第3四半期 23百万円 (△95.3%) 27年8月期第3四半期 498百万円 (62.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第3四半期	12.68	—
27年8月期第3四半期	45.61	—

(注)当社は、平成26年12月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年8月期第3四半期	6,628	2,994	44.3	341.95
27年8月期	6,535	3,005	44.7	340.12

(参考)自己資本 28年8月期第3四半期 2,935百万円 27年8月期 2,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	2.00	—	2.00	4.00
28年8月期	—	2.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,353	△9.9	230	△56.3	231	△63.6	149	△66.4	17.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 蘇州ソツ啄電子有限公司、除外 1社 (社名)

※「蘇州ソツ啄電子有限公司」の「ソツ」の字は、口偏に卒と記載いたします。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年8月期3Q	8,586,000 株	27年8月期	8,586,000 株
----------	-------------	--------	-------------

- ② 期末自己株式数

28年8月期3Q	2,000 株	27年8月期	2,000 株
----------	---------	--------	---------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年8月期3Q	8,584,000 株	27年8月期3Q	8,584,000 株
----------	-------------	----------	-------------

当社は、平成26年12月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。上記の株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不安定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資に回復の兆しがでてきたものの、年明けからの株安・円高及び4月に発生した熊本地震の影響により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

世界経済におきましては、米国では雇用・個人消費等の改善により緩やかな回復基調で推移いたしましたが、中国を中心とした新興国経済の減速が続くなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、スマートフォン等の需要成熟化により設備投資に停滞感があるものの、タッチパネルディスプレイ向けの成膜装置メーカーの設備投資が堅調に推移いたしました。

また、中国市場における顧客サービス強化のため、蘇州啐啄電子有限公司を中国に設立いたしました。

なお、大気圧プラズマによる感染性疾患等向けのプラズマ照射装置の小型化（ステリプラス）は、展示会への出展等を行い、PR活動に注力するとともに、ステリプラスのCE医療機器認定のための準備を進めております。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、研究機関における予算削減により新規案件が減少しており、堅調な粒子線がん治療装置用電源の受注獲得及び新規の市場開拓や新規顧客の獲得に向け営業活動を展開いたしました。収益面については、売上総利益率の改善のため、生産体制見直しによる原価低減に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,884,069千円（前年同期比16.3%減少）、営業利益176,062千円（前年同期比63.1%減少）、経常利益175,481千円（前年同期比70.1%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益108,833千円（前年同期比72.2%減少）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、売上高3,249,287千円（前年同期比5.3%減少）、営業利益289,277千円（前年同期比39.8%減少）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、売上高634,782千円（前年同期比47.4%減少）、営業損失112,892千円（前年同期は営業損失3,023千円）となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年5月31日)
売上高	4,638,550	3,884,069
売上総利益	1,551,402	1,331,166
営業利益	477,604	176,062
経常利益	586,007	175,481
親会社株主に帰属する四半期純利益	391,478	108,833

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
半導体・液晶関連事業（当社等）	3,432,385	480,675	3,249,287	289,277
研究機関・大学関連事業（IDX）	1,206,164	△3,023	634,782	△112,892
合計	4,638,550	477,652	3,884,069	176,385

- (注) 1. 売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。
2. 営業利益は、各セグメントの営業利益又は営業損失（△）を表しております。

(注) 文中表記について

(当社等)

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、Phuc Son Technology Co., Ltd.、Hana Technology Co., Ltd.、愛笛科技有限公司及び蘇州啐啄電子有限公司を表しております。

(IDX)

株式会社IDXを表しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は6,628,006千円であり、前連結会計年度末と比較して92,710千円増加しております。

これは、現金及び預金の増加（407,724千円）、製品の減少（148,921千円）等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は3,633,084千円であり、前連結会計年度末と比較して103,455千円増加しております。

これは、短期借入金の増加（455,000千円）、長期借入金の減少（201,241千円）等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は2,994,921千円であり、前連結会計年度末と比較して10,744千円減少しております。

これは、利益剰余金の増加（74,497千円）、非支配株主持分の減少（26,421千円）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年4月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立した蘇州啐啄電子有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,306,100	1,713,824
受取手形及び売掛金	1,131,293	993,244
製品	640,311	491,389
仕掛品	494,327	672,802
原材料及び貯蔵品	1,205,543	1,132,405
前払費用	43,223	45,163
繰延税金資産	58,834	55,571
未収入金	142,256	75,834
その他	21,135	12,955
流動資産合計	5,043,026	5,193,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,525,169	1,526,357
減価償却累計額	△775,786	△827,114
建物及び構築物(純額)	749,382	699,242
車両運搬具	36,716	37,277
減価償却累計額	△25,550	△28,932
車両運搬具(純額)	11,165	8,344
工具、器具及び備品	844,479	888,743
減価償却累計額	△621,642	△662,072
工具、器具及び備品(純額)	222,836	226,671
土地	363,670	363,670
有形固定資産合計	1,347,055	1,297,929
無形固定資産	37,900	34,092
投資その他の資産		
投資有価証券	45,598	32,456
繰延税金資産	3,599	4,459
その他	73,375	80,821
貸倒引当金	△15,260	△14,945
投資その他の資産合計	107,313	102,792
固定資産合計	1,492,269	1,434,813
資産合計	6,535,295	6,628,006

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,665	203,864
短期借入金	1,005,000	1,460,000
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	394,361	386,793
未払金	127,961	124,361
未払費用	64,041	45,715
リース債務	1,381	920
未払法人税等	155,056	50,382
役員賞与引当金	—	7,629
その他	60,884	23,848
流動負債合計	1,996,352	2,323,514
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	1,398,303	1,197,062
リース債務	575	—
繰延税金負債	19,257	7,377
退職給付に係る負債	2,607	2,851
資産除去債務	64,714	65,558
その他	7,819	6,721
固定負債合計	1,533,277	1,309,570
負債合計	3,529,629	3,633,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	908,160
利益剰余金	1,151,580	1,226,077
自己株式	△384	△384
株主資本合計	2,894,955	2,969,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,879	2,793
為替換算調整勘定	12,759	△36,973
その他の包括利益累計額合計	24,639	△34,180
非支配株主持分	86,071	59,649
純資産合計	3,005,666	2,994,921
負債純資産合計	6,535,295	6,628,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)
売上高	4,638,550	3,884,069
売上原価	3,087,147	2,552,903
売上総利益	1,551,402	1,331,166
販売費及び一般管理費	1,073,798	1,155,103
営業利益	477,604	176,062
営業外収益		
受取利息	947	864
受取配当金	190	225
為替差益	84,122	—
受取手数料	34,730	29,416
受取家賃	9,155	10,376
補助金収入	—	44,687
その他	6,285	2,322
営業外収益合計	135,430	87,893
営業外費用		
支払利息	22,046	19,877
為替差損	—	53,622
減価償却費	—	6,128
その他	4,980	8,846
営業外費用合計	27,027	88,474
経常利益	586,007	175,481
特別損失		
固定資産除却損	9,375	—
特別損失合計	9,375	—
税金等調整前四半期純利益	576,632	175,481
法人税、住民税及び事業税	174,583	102,459
法人税等調整額	19,934	△9,390
法人税等合計	194,518	93,068
四半期純利益	382,113	82,413
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,365	△26,419
親会社株主に帰属する四半期純利益	391,478	108,833

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年5月31日)
四半期純利益	382,113	82,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,095	△9,086
為替換算調整勘定	110,616	△49,733
その他の包括利益合計	116,712	△58,819
四半期包括利益	498,825	23,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	508,190	50,013
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,365	△26,419

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	3,432,385	1,206,164	4,638,550	—	4,638,550
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,116	7,943	20,060	△20,060	—
計	3,444,501	1,214,108	4,658,610	△20,060	4,638,550
セグメント利益又は損 失(△)	480,675	△3,023	477,652	△47	477,604

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△47千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成27年9月1日 至平成28年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	3,249,287	634,782	3,884,069	—	3,884,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,569	10,269	13,838	△13,838	—
計	3,252,856	645,051	3,897,908	△13,838	3,884,069
セグメント利益又は損 失(△)	289,277	△112,892	176,385	△322	176,062

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△322千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。